

セツカブロック 製作・据付マニュアル

平成29年9月

日本コーケン株式会社

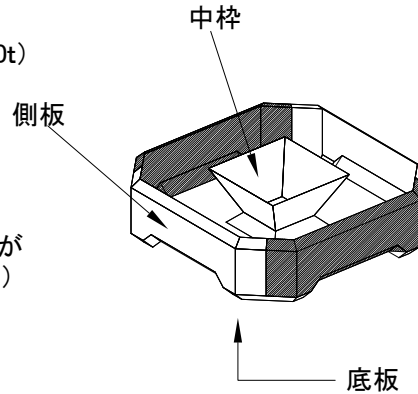
1.型枠の説明

〈型枠部品名称〉

A形(型式:0.5t、1.0t~6.0t、8.0t、10.0t、12.0t、16.0t)

部品名	枚数
底板	1
側板	4
中枠	1

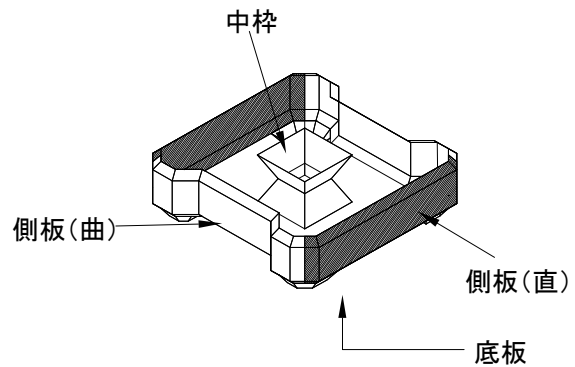
※底板は**4.0t~6.0t型**が2分割、**8.0t~16.0t型**が3分割です。(8.0t型は2分割タイプもあります。)



B形(型式:0.5t、1.0t~6.0t、8.0t、10.0t)

部品名	枚数
底板	1
側板(直)	2
側板(曲)	2
中枠	1

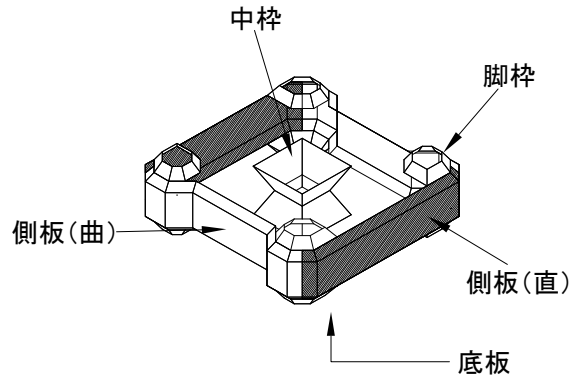
※底板は**6.0t~10.0t型**が2分割です。



C形(型式:0.5t、1.0t~6.0t、8.0t、10.0t)

部品名	枚数
底板	1
側板(直)	2
側板(曲)	2
脚枠	4
中枠	1

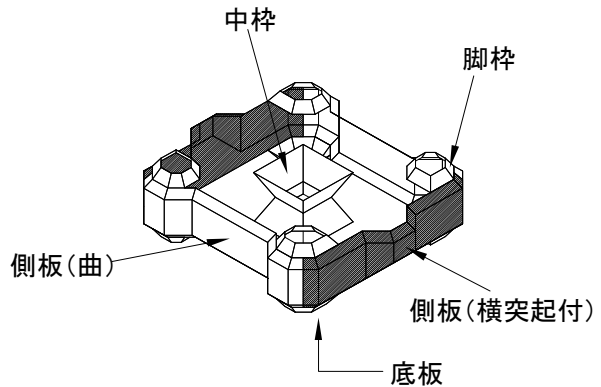
※底板は**6.0t~10.0t型**が2分割です。



W形(型式:2.0t、4.0t、5.0t)

部品名	枚数
底板	1
側板(横突起付)	2
側板(曲)	2
脚枠	4
中枠	1

※図は**W形突起付き**タイプです。
標準タイプは脚枠を使用しません。



※セッカブロックはコンクリート硬化後、型枠ごと吊り転置しますので予備の底板を必要としません。

2.型枠の組立

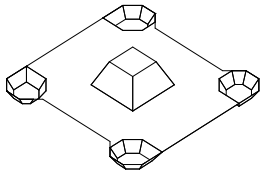
2.1組立前の注意事項

- ・型枠の清掃及び剥離材の塗油は、最初型枠を組立る前に行い、その後は型枠脱型の都度丁寧に行ってください。
- ・底板は整地した場所へ置きます。一度設置すると製作終了までその場所から移動しないため十分平らにして安定性のよい場所に設置してください。
- ・地盤が軟弱な場合は、型枠及びブロックが変形するおそれがあるため、鉄板等を敷き詰めその上で作業を行うようにしてください。

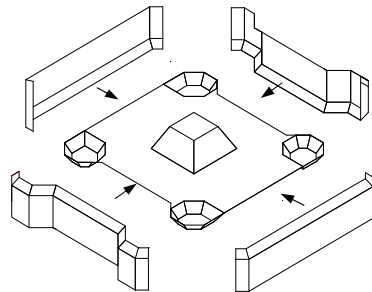
2.2組立手順

C形を例として型枠の組立を説明致します。他の型式も同様の工程で組立を行ってください。

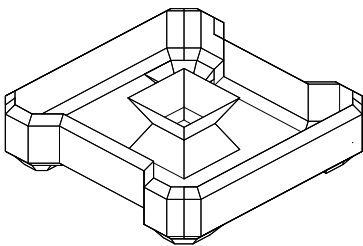
- ①底板を設置する際に、分割している底板はボルト、ナットにより組立てください。(第1回目組み立て及び型枠返却時の作業となります。)



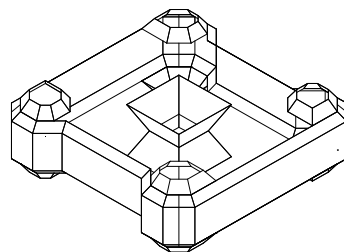
- ②底板に側板をピン、矢にて仮締めした後に本締めを行い固定します。
※ピン、矢は型枠組立作業中に跳ね返るおそれがあるので十分注意してください。
※連結を行う場合は側板と側板の間に挿入鉄筋を取り付けます。(B形・C形の場合0.5t型と1.0t型は上部に取り付けます。)



- ③中枠を②同様ピン、矢にて固定します。



- ④脚枠を上部に取り付け型枠組立完了。



3.コンクリート打設

3.1用具

バイブレーター(φ40mm位)2台
スコップ
突き棒(鋼製の長ベラ)
均し金コテ

3.2打設手順

- ①ピン、矢の緩み、型枠の傾きを確認します。
- ②型枠内部に雨水、ゴミ等の異物がないことを確認します。
- ③バイブレーター(内部振動機)を使用しながら、コンクリートを打設します。



※右上写真の様に、中枠に蓋をしてコンクリートを流し込む事をお奨め致します。
※ピン、矢は、コンクリート打設中に緩むことがあるので十分注意してください。
※連結する場合、挿入鉄筋がコンクリート打設中に設計寸法より出ないようにご注意ください。

3.3打設後の処理

コンクリート打設後、スランプ・気象状況により異なりますが、突き棒・バイブレーター等を用いて気泡・水泡を除去し沈下するコンクリートの不足分を補い、本均しをして打設完了です。

・突き棒使用箇所

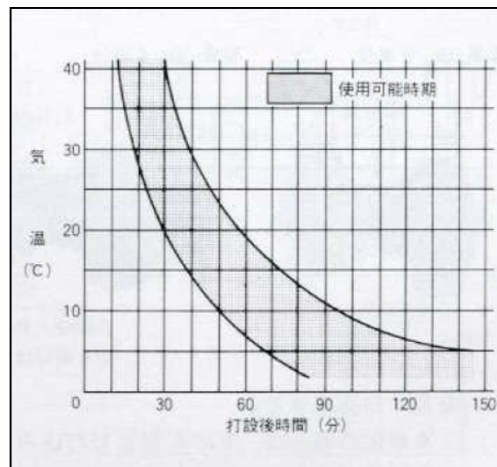
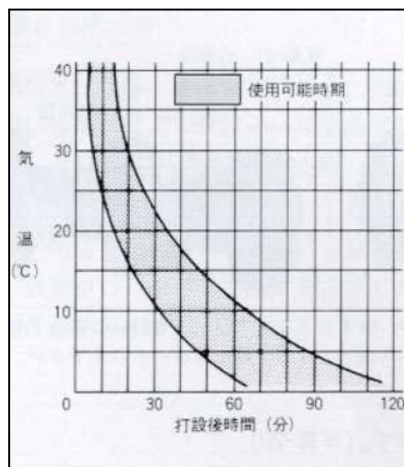
気泡・水泡の付き易い箇所の型枠内面とコンクリートの接触面を突き棒を用いて、こする要領でスペーシングを行い気泡、水泡等を取り除きます。



・突き棒の使用時期

スランプ 5cm

スランプ 8cm



4.養生

養生期間、方法は季節によって異なります。下表を参考に行ってください。

季節	有害な作用	養生方法
常時	・低温、乾燥、急激な温度変化、振動 衝撃、荷重	・露出面をぬらした養生用マット、布等で覆います。 ・または散水、湛水します。
暑中	・表面の乾燥	・表面を湿潤に保ちます。 ・打設後直ちに養生します。
寒中	・凍結 ・給熱期の乾燥及び局部的加熱 ・養生完了時の急冷	・打設後と脱型後は、むしろ・ビニール布・天幕等で覆い、 必要に応じて蒸気養生等を行います。

初期養生(湿潤・保温)への対応として養生シートの使用をお奨め致します。

(当社取扱商品)

コマシート:消波・根固ブロック養生シート

【特長】

- 引張強度、引裂強度に優れています。
- 重量が軽いため、布設手間が省けます。
- 簡単に水洗いができ、いつまでも美しさを保ちます。
- 保温性があります。



【コマシートレンタル】

- 貸出枚数は型枠数に応じてレンタル致します。
- レンタル期間は養生施工日より完了日迄です。
- レンタル金額はブロック製作1個当りの損料単価を製作個数に乗じた金額です。
- 運搬費は実費です。
- 万一紛失、或いは著しい損傷の場合実費負担になります。



連絡先: 日本コーケン株式会社

☎ (03) 3501-1010(代)

又は、担当者までご連絡ください。

5.脱型

〈脱型手順〉

C形を例として脱型の説明を致します。他の型式も同様の工程で脱型を行ってください。

①中枠及び脚枠の取り付けピン、矢を取り除き、中枠をはずします。

※ピン、矢は型枠脱型作業中に跳ね返るおそれがあるので十分注意してください。



②底板と側板を留めているピン、矢をはずし、底板を残し側板の吊り穴を利用して側板を取り付けたままブロックを吊上げ転置します。

※吊り上げる際、挿入鉄筋を使用して吊らないでください。

※吊り上げる前に側板のピン、矢を締め直してください。

※転置の際のブロック移動は、ブロックを高く吊らないように行ってください。



③転置後、側板をはずして脱型完了。

脱型後は清掃及び剥離材の塗油を丁寧に行ってください。



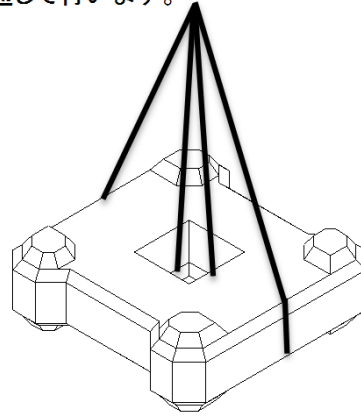
6.据付

〈据付手順〉

C形を例として据付の説明を致します。他の型式も同様の工程で据付を行ってください。

①据付は、ブロックの中枠にワイヤー及びバンド等に通して行います。

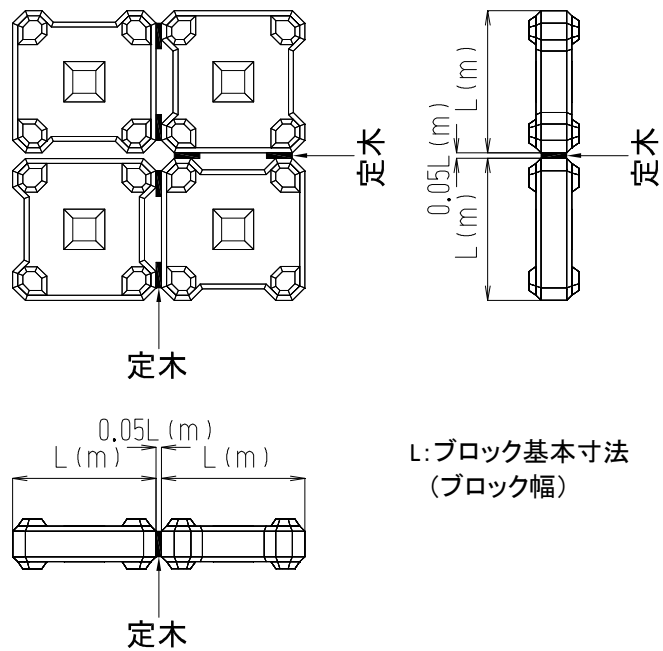
- ・ブロックのつり方
右図のようにセッカブロックを2本4点で吊り、据付を行います。
※1本吊りは絶対に行わないでください。



②設計天端高、天端幅は丁張り、水系、定木等を用いて据付を行います。

右図の様に $0.05L(m)$ の定木を用意し、既に据付けたブロックと新たに据付けるブロックの間に入れて据付けると間隔がとり易く能率的です。

定木での据付が困難な場合は基礎地盤や糸等に印をつけて行ってください。



③ブロック個数が施工体積に納まる様に区間毎(約10m~20m)に確認します。